

# コロナ禍における各国・地域の動向について (3月)

3月5日現在

## 新型コロナワクチン接種数は、世界109カ国・地域で2億7584万回超

米国、中国の接種数が全体の約半数を占める(3月5日現在)

主要7カ国(G7)首脳会議は2月19日、会議後の首脳声明で「2021年を多国間主義のための転換点とする」と宣言。東京五輪の今夏開催への支持も明記した。

欧州委員会は2月11日、ユーロ圏の2021年実質GDP成長率見通しを前年比3.8%に下方修正。各国のロックダウン継続が影響。

イスラエル保健省は2月20日、米ファイザー社製ワクチンを2回接種することで、コロナ感染による死亡例が98.9%減少したと発表。

東南アジアでは8か国(シンガポール、ラオス、インドネシア、ミャンマー、カンボジア、タイ、フィリピン、マレーシア)でワクチン接種を開始。3月中旬にベトナムも接種を開始予定。

米国は2月19日、地球温暖化対策の枠組み「パリ協定」に正式に復帰。バイデン大統領は4月22日に気候変動首脳サミットを開催予定。

バイデン米大統領は2月24日、半導体など重要部材の供給網を見直す大統領令に署名。同盟国・地域と連携した調達体制を構築する。

## 世界の新型コロナワクチン 累計接種回数

上位国と日本(カッコ内は100人あたりの接種回数)

1	米国	80,504,749	(24.3)
2	中国	52,573,800	(3.7)
3	英国	21,771,378	(32.4)
4	インド	16,616,048	(1.2)
5	トルコ	9,317,546	(11.2)
6	ブラジル	9,277,322	(4.4)
7	イスラエル	8,436,312	(93.2)
8	ドイツ	6,813,173	(8.2)
9	UAE	6,168,330	(63.1)
10	ロシア	5,489,342	(3.8)
76	日本	39,174	(0.0)

2月17日から医療従事者を対象にワクチン接種を開始。65歳以上の高齢者向け接種を4月12日開始予定。

政府は緊急事態宣言の全面解除後も、ビジネス往来の停止措置を継続する方向で検討(2月24日付報道)。ビジネス往来は中国・韓国など11か国・地域と合意したが、1月14日から停止している。

政府・東京都・大会組織委員会・IOC・IPCは3月3日トップ協議を行い、東京五輪・パラリンピックへの海外観客の受け入れ可否を3月中に判断することで合意した。

政府は2月24日、地域的な包括的経済連携(RCEP)の国会承認議案を閣議決定。今通常国会で承認される見込み。早ければ2021年末にも発効。

今月のトピックス

欧州

アジア・大洋州

北米・中南米

日本